



尾根に取り付くと期待通りの深雪

八ヶ岳

瑛太ルートに行ってきた

川俣尾根～権現岳

福永

久しぶりに雪山を歩こうと思った。人で溢れる西面にはアイスクライミングで行っているので、静かな東面が恋しい。今日この頃。岳人の記録で服部文祥さんと俳優の瑛太さんが登っていたルートが目にとまった。マイナーだし、出合小屋から近いのもいい。以前、バレンタインデーに出合小屋に入った時には川俣林道さえもラッセルで苦労した経験がある。さて今年は雪が多いので、手応えのほどはいかに。

1月29日 晴れ

今期、初ビーコンの本多君と私がいるので、ビーコンチェックをしてから出発。



林道途中から出てきた雪にはしっかりとレースがあり、屈強なメンバーの中で遅れをとりたくない私は内心ほっとした。出合小屋に入ると蒔ストーブが懐かしい。少し休憩してから裏手の尾根に取り付いた。最初は岩っぽいのが、針葉樹の広い尾根に乗ると、すぐに膝くらいのラッセルになった。思っていたより雪が少なく、無用の長物かと話していた本多君のスノーシューも活躍し、杉本君はワカンで全体の7割をラッセルしてくれた。「ラッセル頑張る」という約束を守ってくれて頼もしい限りである。Co2150mでラッセルからは解放されたが、風も冷たいので動いていないと寒い。目標としていたCo2300mには14時前に到着した。しかしここは狭くてテントを張れるような場所じゃない。栗原さん先頭で、幕場を探してズルズルと高度をあげる。結局100m近くも上がったところが開けた台地だった。甲府昭和山岳会の慰霊碑が富士山と対峙するように立っていた。赤岳から権現までよく見える展望台のようなところだ。私たちは風を避けるように東側に雪を掘り下げてテントを張った。本多シェフの大根と豚肉の無水鍋をいただいて就寝。夜中に低気圧が通過したのか、強い風と雪が舞った。

1月30日 晴れ

栗原さんの温かいリゾットをいただいてヘッドンで出発。すぐに明るくなり、目の前には赤岳、権現岳、足元は雲海、そしてご来光という最高のシチュエーションで八ヶ岳の主脈にのった。



主稜線到着

主脈に近づくと、突然、人がいてびっくりした。八ヶ岳の主脈はさしづめ国道で、三ツ頭方面から日帰り装備であがってくる登山者の往来が忙しいところだった。杉本君と栗原さんを山頂で少々お待たせしてしまったが、寒いので記念写真をとるだけで早々に下山開始。トレースをずんずん歩いていたら川俣尾根分岐を見失い、私だけ三ツ頭に登頂。本多君に呼ばれて慌てて引き返した。荷物を回収して、あっという間に下山した。

思えばコロナを気にして、テント泊をしばらくやっていなかったのが、忘れたことを色々と思い出させてくれた山行となった。



登頂したぜ

DATA

山行日 2022年1月29日～30日

行程 1/29 美し森駐車場(7:00)～出合小屋(10:00/30)～川俣尾根Co2300m(13:50)～Co2381m(14:35)

1/30 C1(6:00)～三ツ頭北西コルCo2530m(7:00)～権現岳(8:00/15)～Co2381mデポ地(9:30)～出合小屋(11:00)～美し森駐車場(13:20)

地形図 八ヶ岳東部、八ヶ岳西部

メンバー 福永(L)、本多、杉本、栗原